

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成27年度)

調査表

施設名	林業技術センター(研修寮、森の科学館、体験の森、森林植物園、親水広場のみ)
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	環境森林部 森林経営課

1 施設利用状況

指 標	H27	H26	H25	増減理由等
森の科学館入場者(単位:人)	4,968	4,112	3,972	H27は11月に「森とのふれあい祭り」を開催したことにより、主催研修参加者が増加した。しかし、自主研修利用者は減少したため、今後もPR活動を継続していく必要がある。
主催研修参加者(単位:人)	1,574	505	543	
自主研修受入人数(単位:人)	1,647	1,812	1,542	
研修寮利用者(単位:人)	1,059	927	1,048	
コメント	森の科学館入場者数は年々増加しているが、主催研修や研修寮の利用に波があることが課題であり、一層のPR活動を継続していく必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:円)

収 入	H27	H26	H25	支 出	H27	H26	H25
指定管理料	24,288,000	21,908,572	21,300,000	人件費	18,122,409	18,017,444	18,304,117
利用料金収入	897,750	913,500	956,760	報償費	227,820	181,605	179,550
自主事業収入	3,225,800	3,238,100	3,329,550	旅費	277,703	184,445	181,019
雑収入	28,815	1,169	1,064	需用費	3,233,744	3,264,800	2,401,016
				役務費	513,182	562,414	389,850
				原材料費・その他	3,745,571	3,318,604	3,199,997
				租税公課費	1,532,081	1,375,719	927,908
				県への利用料金納付額	0	66,000	99,000
合計(①)	28,440,365	26,061,341	25,587,374	合計(②)	27,652,510	26,971,031	25,682,457
収支差額(①-②)	787,855	-909,690	-95,083				
コメント	H27は指定管理料を適正に見直し、収支が改善した。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成27年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実施内容	
維持管理業務	清 掃	日常清掃(随時)、特別清掃(年1回ワックス)
	保守・点検	遊歩道の点検(月1回)、施設内巡回(日1回以上)
	警 備	研修寮使用時夜間巡回(日3回)
	修 繕	各種用具の保守・整備(常時)
	備品等管理	備品点検(年1回)
	安全対策	安全・危機管理マニュアル整備、施設内安全点検(月1回)、消防訓練(年1回)、救急救命講習会
	その他	芝刈下刈・除草・剪定・薬剤防除・施肥実施、毎月1回朝会実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	職員接遇研修(年1回)、アンケート調査の実施(主催研修)
	イベント等ソフト面充実	年間行事案内(教育施設等各団体への働きかけ)、出前研修による施設活動のPR、HP・マスコミを利用した情報発信
	施設設備等ハード面充実	施設にちなんだクイズ等の設置、樹木名の立て札補修、遊歩道木階段の補修、身障者用トイレの補修
	その他	地域経済配慮(地元雇用 職員・作業員等臨時職員 計10名)
管理運営体制	業務に関する職員研修の実施	
コメント	施設管理等適正に実施されている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	研修参加者へのアンケート調査(主催研修で実施)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
スタッフ対応、イベント内容等について大変評価が高い。	
HPのアクセスマップをもっと分かりやすくして欲しい。	
広報活動にもっと力を入れて欲しい。	

5 総合評価

評価コメント	施設管理運営については適正に行われている。 森の科学館の通年開館(年末年始を除く)や研修での丁寧な説明等県民へのサービス向上に努めている。
今後の課題と対応	自主研修参加者が減少したので一層のPRを行い、利用者数の増加を図る必要がある。